

道写協

北海道写真協会

事務局 ■札幌市中央区大通西3丁目6道新文化事業社内
011-210-5735(直通) 011-207-3939(FAX)
<http://www.dosyakyu.org/>

第115号

応募点数五、〇〇〇点を越える

―第五十八回写真道展審査会報告

■支部会員の応募人数増える

昨年は三部門制になって最高の応募点数でしたが、第五十八回展はそれをさらに二九九点増えた五、二八九点の応募で、遂に五、〇〇〇点の大会を超えました。部門別にみますと第一部は二七七点、第二部八〇点、第三部は八二点の増です。

応募人数は昨年より十二名増えましたが、これはすべて支部会員の出品増によるもので、支部長さんはじめ支部会員の皆さんのご努力によるものと喜んでおります。出品のない支部は前回の半数の三支部です。一般の応募者は、前回と同数の二八二名で、支部会員より六八名上回っています。

また、インクジェット作品は前回展で銀塩写真を上回りましたが、今回は更に全体の六十二・八%を占め増加しています。白黒写真でも同様のことが言えます。この傾向は今後一層強まるのが予想されます。



一次審査風景

■整然と進化した厳正な審査

審査は三月五、六日の両日北海道新聞社の会議室で行われました。武藤審査委員長をはじめ招聘の審査員二名を加えて、去年と同じく総勢二七名で厳正に行われました。審査は

第一次から第六次審査まで行われますが、応募点数が約三〇〇点増えたこともあって、選考には例年より時間を要しました。

二日目の第五次審査で第一部二二〇点、第二部五〇点、第三部八〇点の入選以上の作品が決定しました。第六次審査の入賞作品の決定は、前回から全審査員の記名投票方式によって行われています。最高得点の小室博子さん(第一部)、紙谷重行さん(第二部)、中神由美子さん(第三部)の作品がそれぞれ大臣賞に輝きました。そして、各部一席作品三点の中から第二部の紙谷さんの「夜の大橋と工場群」がみごと大賞を射止めました。

また、会友奨励賞の選考に当たるのは、写真協会副会長の武藤省吾奨励賞選考委員長を中心に、七名の奨励賞選考委員です。今回は六名の会友の出品がなく、五六点の作品を対象に選考が行われました。会友奨励賞には中山久子さん(札幌支部)、準奨励賞には石島忍さん(函館支部)、同じく塩谷洋次さん(留萌潮支部)の作品が選考されました。

学生写真道展の応募人数は十五名ほど減りましたが、応募点数はほぼ変わらない八三五点でした。奥野時夫審査委員長を中心に、若々しい感性の写真に審査員一同歓声をあげながらも真剣に審査を行いました。その結果、最高賞の「北海道知事賞」には北海道高校二年生の秋山紗希さんの作品「夏の思い出」が選ばれました。

過密なスケジュールで審査をしていただいた審査員の方々、綿密なプランでスムーズに審査を進めた進行係の皆さん、並びに主催の北海道新聞社、主管の道新文化事業社の皆さんのご協力により、予定通り終了したことに感謝し、報告とします。 中野潤子(記)

心に残る旅がある

心の印画紙に焼き付けたい旅があります。
旅の出会いはフォトジェニック。
カメラ片手に出かけてみませんか。

◆お問い合わせ・お申し込みは
TEL(011)241-6401

ホームページ <http://www.doshinkanko.com/>

営業時間	
月～金曜日	9:00～18:00
土曜日	9:00～16:00
日曜日・祝日は休業	

旅行企画・実施
安心と信頼の

道新観光

〒060-0042 札幌市中央区大通西3丁目道新ビル北一条館1階 道新プラザ内

おめでとうございます！ 第五十八回写真道展入賞・入選者喜びを語る

第一部 三席

村上 和子

札幌



この度は、大きな賞を頂き大変感激しております。この作品は初冬のある日、中島公園に出かけた際に出会ったワンシーンです。薄氷の張った隙間をつがいのカモが滑るように泳いでいたのを夢中でシャッターを押しました。

これからも、何気ない一瞬を大切にして撮り続けていきたいと思っております。

初挑戦・初入選

齊藤 修成

苫小牧



私が写真を始めたきっかけは、三年前の一月に新聞の「たるまエフォトクラブ紙上作品展」を見たことです。丁度デジタル一眼レフを買って間もなくでした。

もともと写真を撮ることは好きでしたの

で、写真仲間と批評し合うことで自分の張り合いにもなることと思いい早速入会をしました。今は更に勉強を重ね、人に感動を与えられるような写真を撮り続けたいと思っております。入選作品は今年一月、苫小牧東部工業地域の夜景を撮りたくて夜七時頃出かけた。苫東コールセンターでうつつすと雪を被り、重機もアクセントになり、煙が長く尾を引く風景が素晴らしく、月も入れ、構図にも工夫した一枚です。

初入選

大坪 恵子

室蘭



遊びに興じる子供たちの元気な声、仕草を見かけるとスナップショットとして捉えてみたいと思うものの、他人の顔にむやみにカメラを向けられない難しさを感じたりします。そんな折、地域の子供相撲大会で四歳前後の男の子が力闘する光景に出会い無心な表情に目いっぱいズームしてみました。望遠レンズの手ブレをしないよう、私も両脇にぐぐつ

とありつた力の力を入れた一瞬となりました。思えば家に籠りがちな私を見兼ねて写真を勧めてくれたのが我が子、今回初入選をした作品のテーマも子供ですので、写真に對し大いなる後押しを子供たちから貰っているのだと感慨もひとしおです

二部門 入選

嵯峨 秋雄

小樽



写真を始めたきっかけは、若いとき少しの間でしたけど海で水中写真を撮っていました。でも小樽付近の海は透明度が悪く飾れるような写真が撮れずあきらめししばらくのこと、ある写真の展示会を見たとき感動を覚え、そこからです。今は写友仲間にも恵まれて努力と勉強を重ねて、今に至っています。一部入選・青春は、昨年桜が満開の洞爺湖マラソンの時です。ランナーが通過する前の時、そこへ青春まつただなかの美女たちが現れ社友仲間の交渉上手な人がモデルの了解を取

三部門 入選

香取 征子

札幌



り、見事なポーズになりました。二部入選・石垣の街は、撮影場所は小樽です。昨年小樽潮祭りの日です。小樽は石倉の多い町で、石垣を多く取り入れ撮ろうとしていたら、そこに観光船が通りラッキーでした。

「いつかこんな写真を撮ってみたい」とカメラ雑誌などに載っている写真を見ていました。定年退職を機に、写真の基礎講座を「ちえりあ」で受講したのが写真を学ぶ一歩になりました。今回入選させていただいた作品は早春の真駒内公園、初夏の千歳、冬の大通公園で撮ったものです。身近な場所へカメラを手に四季を通して出かけ、その時々々の光や風、空気などを感じることが大切にし、楽しみながらシャッターを押しております。

昨年度から道写協に入会させていただき私にとって月例会は、写真を学ぶ貴重な場のひとつになっています。今回の入選を励みに、これからも楽しく学んでいきたいと思っております。

支部探訪―紋別

支部長 小林 功男

■ 仲が良いのが自慢です

紋別支部が誕生したのは、今から二十五年前の昭和六十年です。地元のカメラ愛好者五名でスタートし、現在の支部長の私で三代目になります。会員は、三十代から八十歳までの十一名が在籍しています。

平均年齢は五十代後半でしょうか。支部例会は行っていないですが、フォトコンテストには各自挑戦しており、二名の方が写真道展会友になつています。

道立オホーツク流水科学センター主催の「オホーツクの四季写真展」では、知事賞を始め多くの賞を獲得しています。



支部会員一同

■ 写真展は年二回開催

写真展は、五月の愛鳥週間に合わせた「野鳥写真展」と十月に「支部写真展」を流水科学

センターで開催しています。「野鳥写真展」は市内郵便局で十二年前から行っています。オオワシ・オジロワシ・フクロウ・ハクチョウなど北国ならではの野鳥が多いのが特徴です。「支部写真展」は十年前から実施しています。



支部写真展

一ヶ月のロングランイベントで、昨年は会員九名が八十二枚の写真を展示しました。

顧問で道展会友の佐々木栄市さんは日の出などで美しく染まった彩雲をテーマに出展。

町景色をテーマにしている高橋勇造さんは、四季の光景を撮影し、ハツとするような出会いの作品が多い。ベテランの大山時治さんはサクラ開花時に降った雪とのコントラストをうつしている。

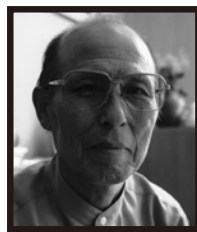
道展会友の竹岡孝二さんは蓮の花にとまったトンボの美しい光景を撮影し独自の作風を披露している。

野生生物がテーマの中村法幸さんはナキウサギを至近距離から撮影。若手の原志利さんはライフワークのトッカー。佐藤英男さんはA0サイズの清流。矢口 徹さんは愛犬の写真。私は欧州旅行の写真を飾りました。

写真は高齢になつても続けられる趣味です。これからも皆で仲良く楽しんでいきたいと思つています。

写真道展審査会員

哀悼 本谷内俊介さん



本谷内さんは請われて〇四年札幌支部長に就かれ強いリーダーシップで支部を牽引されました。会友の指導

体制や予算見直し等、四年にわたつて多くの改革に成果をあげられました。写歴は九九年運輸大臣賞受賞、〇三年の個展、海外四都市を精力的に巡つた「札幌と姉妹都市」が話題を呼びました。〇四年道展審査会員となり役員にも任じられました。

造詣が深い絵画的で培われた大胆な構図の札幌ドームの写真等、どれも骨太で男性的な迫力あふれる作風を印象付けられました。

九三年頃から昔の予防接種種痘と言われるC型肝炎との闘いを余儀なくされ、心配していました。例会時の「もつと批評に耐えうる作品を」との言葉に、自分に厳しかった人柄が窺えました。まだまだ指導をお願いしたかっただけに「逝去が悔やまれてなりません。

二月二十一日 逝去 七四歳 合掌

札幌支部長 山本 隆成

講演会・写真展を終えて

釧路支部創立五〇周年記念

北海道写真協会釧路支部は、今年度五〇周年をむかえることができました。諸先輩が築き上げた足跡を財産に、いま私達会員はこの節目を機会に、写真展と写真講演会を開催しました。

写真講演会

開催日 二〇一〇年十二月一日
会場 北海道新聞釧路支社 五階
演題 魅力ある写真づくりをめざして
副題 「道展」五七年を振り返つて
講演者 写真協会武藤 省吾 副会長



支部創立50周年記念写真展

写真展

開催日 二〇一〇年十二月二日〜十二月四日
場所 釧路市生涯学習センター
テーマ 「自由」作品：「全紙判」七四点
主催 北海道写真協会釧路支部

支部例会成績

札幌 支部長 山本隆晟

- ▽十二月例会(十七日) 森 哲 審査会員選考)
 - ①武田礼子②村上和子③山本隆晟④山口あつみ
 - ⑤高谷喜⑥中島多恵⑦澤田満起⑧廣岡尚⑨大竹勝⑩砂澤 彦
- ▽一月例会(二十一日) 中野芳生審査会員選考)
 - ①村上和子②原禎子③中島多恵④大野カヨ子⑤奈良美弥子⑥裏征子⑦荻田貞子⑧廣岡尚⑨香取征子⑩山口あつみ
- ▽三月例会(十八日) 河江利幸審査会員選考)
 - ①砂澤二彦②坂本幸夫③荻田貞子④村上和子⑤香取征子⑥山本隆晟⑦紙谷重行⑧堀口郁夫⑨寺地栄⑩原禎子

釧路 支部長 高橋和幸

- ▽十二月例会(九日) 工藤二男・佐藤武治審査会員選考)
 - プリントの部 ①浅海信二付いてこないで②岡本雄毅③秋葉洋④北構善 郎⑤中川ミエ子
 - スライドの部 ①北野宏幸②水谷博之③千葉弘子④岡本雄毅⑤佐藤えみ子
- ▽二月例会(三日) 片村洋市・奥野時夫審査会員選考)
 - プリントの部 ①秋葉洋二②小坂隆③大里清志④浅海信二⑤千葉弘子
 - スライドの部 ①水谷博之②千葉弘子③大里清志④蛭名昇⑤浅海信二



12月例会プリントの部1位 「付いてこないで」(カラー)浅海信一

栗山 支部長 黒田幸則

- ▽一月例会(十九日) 山田浩友選考)
 - ①高橋勝雄②齋藤優子③黒田幸則③中島武士 (入選) 黒田幸則 齋藤優子 中島武士

恵庭 支部長 西澤 實

- ▽十二月例会(四日) 審査互選)
 - ①田中康夫②※長田登美子③※目黒健二③※上林悦子⑤五島建夫⑤古村登美子⑦古村剛⑧西澤實⑧清水孝子⑩※瀬戸喜信 ※会員外
- ▽二月例会(五日) 審査互選)
 - ①古村登美子②※中村忠司②古村剛④村井正人⑤五島建夫⑥※瀬戸喜信⑥※目黒健二⑧加藤憲秋⑨西澤實⑩※佐野ミヨ ※会員外

小樽 支部長 川原静雄

- ▽十二月例会(十日) 増田輝敏審査会員選考)
 - ①高橋省三・雪景②嵯峨秋雄③員沼正雄④岩田明美⑤藤本精二⑥成沢克朗⑦堀野正憲⑧鹿戸芳之⑨松居秀昭⑩小泉和子



11月例会1位 「雪景」(カラー)高橋省三

旭川 支部長 馬場和美

- ▽二月例会(二十日) 志賀芳彦審査会員選考)
 - (二席)池田政人(特選)阿部三重子 菅原清弘 佐藤繁雅 吉田祥子 (入選) 伊藤勝利 吉田祥子 谷藤貞夫 佐藤繁雅 川見英則
- ▽二月例会(三日) 田村健太郎審査会員選考)
 - (二席)白鳥敏昭(特選)伊藤勝利 早坂藤男 池田政人 (入選) 白鳥敏昭 三本芳男 菅原清弘 阿部三重子 田中昭一 早坂藤男
- ▽三月例会(十日) 福田光男審査会員選考)
 - (二席)田中昭一(特選)吉田祥子 池田政人 宮崎章子 (入選) 佐藤繁雅 作田専 白鳥敏昭 阿部三重子 瀬川敏雄 菅原清弘
- ▽平成二十二年 年度賞)
 - (年度賞)白鳥敏昭(準年度賞)伊藤勝利(最高作品賞)池田政人(奨励賞)阿部三重子(敢闘賞)吉田祥子(新人賞)三本芳男

余市 支部長 金子勝彦

- ▽十二月例会(十九日) 審査互選)
 - ①⑨谷橋誠一①⑤丹野光雄③④石岡誠三⑦平形秀哉⑧谷橋誠子⑨⑩青木延広
- ▽一月例会(十六日) 審査互選)
 - ①②石岡誠三③④谷橋誠一⑤金子勝彦⑥⑨丹野光雄⑥⑨平形秀哉⑧⑨谷橋誠子⑨ 戸弘利
- ▽二月例会(六日) 審査互選)
 - ①⑧平形秀哉 笑顔②⑤石岡誠三③⑥美濃英則④⑤丹野光雄⑤⑨ 戸弘利⑦⑧谷橋誠一⑧⑨青木延広⑨谷橋誠子



2月例会1位 「笑顔」(モノクロ)平形秀哉

室蘭 支部長 佐々木 昇

- ▽十二月例会(二十二日) 山下智審査会員選考)
 - ①③三浦和市②長澤剛③大坪恵子③成田正利 (入選) 森美津雄 大坪恵子 佐々木昇 藤倉のりこ 山田清滋 佐藤俊晴
- ▽二月例会(二十一日) 浪岡和雄審査会員選考)
 - ①②③山田清滋②佐藤俊晴③長澤剛③森美津雄 (入選) 多田逸三 森美津雄 三浦和市 伊東克己 大坪恵子 佐藤明

岩見沢 支部長 尾崎和男

- ▽十一月例会(十日) 審査互選)
 - ①②山崎正義③田中明子③木村克巳⑤松田市郎⑥友広茂夫
- ▽二月例会(十九日) 審査互選)
 - ①広田広二②田中明子③友広茂夫③山崎正義⑤植木宣章⑥松田市郎
- ▽年度審査結果(中野潤子審査会員選考)
 - ①④広田広二②⑦山崎正義③木村克巳⑤友広茂夫⑥⑧田中克彦⑨植木宣章⑩中路薫

留萌 支部長 崎出恒夫

- ▽十二月例会(十二日) 審査互選)
 - ①松葉師正②③川上正巳②③澤岡政江
- ▽一月例会(十六日) 審査互選)
 - ①④松葉師正②谷幹浩②加藤美佳③川上正巳③澤岡政江
- ▽二月例会(二十三日) 審査互選)
 - ①川上正巳②③松葉師正③澤岡政江④加藤興二④畑忠幸⑤谷幹浩

編集後記

写真道展に入賞、入選された皆様おめでとうございます。本号にも多くの皆様から原稿をお寄せいただき、深く感謝いたします。 森田